

ヘルメットは万一のアクシデントから頭を守るためのアイテムですが、すべてのアクシデントからは100%防御できるものではなく、「安全の一要素」にすぎないことを十分にご理解の上ご使用ください。

不意に発生するリスクから頭を守るために、ヘルメットの正しい認識と正しい使い方をご理解いただき、サイクリングを楽しみましょう。

SAFETY MEETS STYLE



ヘルメットのあれこれ
さらに詳しくはWEBへ!

www.ogkkabuto.co.jp/hg/ind.html



株式会社オージーケーカブト
本社 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3番4号
TEL 06-6747-8031 (代表) FAX 06-6747-8023



Kabuto Japan Web : www.ogkkabuto.co.jp
Kabuto Global Web : www.ogkkabuto.com



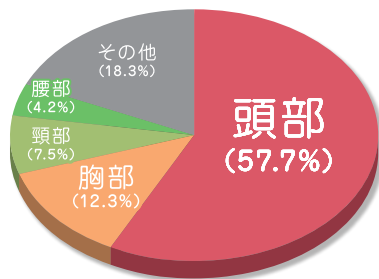
Helmet Guide ヘルメットを かぶろう!



何故ヘルメットをかぶらないといけないの？

転倒時の損傷箇所の割合

転倒時の損傷部位を見ると、頭部が圧倒的多数を占めています。転倒の際に路面や縁石で強打する、あるいは自動車等との衝突で車輪に巻き込まれたり、車体や外板で強打する場合が多いことが原因といわれています。これらによって頭蓋骨折や脳挫傷、脳しんとうを起すケースが多く、死亡に至っています。



自転車死亡事故の損傷主部位

※2017から2021年の5年間
※警察庁交通統計から作成

「大切な命」を守る、ヘルメット

ヘルメットの構造

ヘルメットは基本構造として、シェル（外殻）、ライナー（発泡スチロール）、あごひもの3要素から成り立っており、それぞれ役割があります。

【シェル】

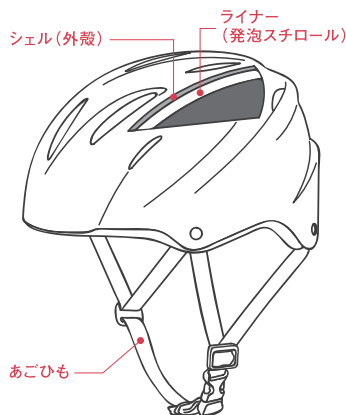
ヘルメットの外殻。衝撃を受けた際、一次外力を分散させる役目を果たします。

【ライナー】

衝撃力を吸収する役目を果たします。

【あごひも】

転倒時などヘルメットをしっかり保持するための役目を果たします。



ポリカーボネイト樹脂
軽量で首への負担が少ない。



ABS樹脂
若干重量はかさむがしっかり頑丈。



カーボン
軽量であると同時に高い剛性がある。

認証マークをチェックしよう！

海外のCEマーク（自己認証）については
「CE EN1078」のみが自転車ヘルメットの規格です。



JCFマーク
(日本自転車競技連盟)

ヘルメットは頭にぴったりのサイズを選びましょう

頭部形状は個人差が大きい

ヘルメットは必ず実際にかぶって、内部形状のフィッティング感とサイズを確認しましょう。

海外ブランドに見られる
ヘルメット形状

縦長のだ円に近い形の内部設計が
多く注意が必要



オージーケーカブの
ヘルメット形状

国内データに基づく頭部形状に
合わせ円形に近い内部設計



※個人差があります。

なぜサイズの合ったヘルメットが必要なのか

正しいサイズのヘルメットを使わなかったら…



サイズが大きすぎるヘルメット

万一のアクシデントの際、転倒のはずみでヘルメットが脱落するおそれがあります。



サイズが小さすぎるヘルメット

ロングライドなど長時間ヘルメットをかぶっていると、圧迫により痛みや不快感を感じるおそれがあります。

正しいサイズの選び方

ヘルメットは実際にかぶって自分によくあったサイズを選びましょう。

※ヘルメット取扱い専門店様でご相談の上、ご購入頂くことをおすすめ致します。

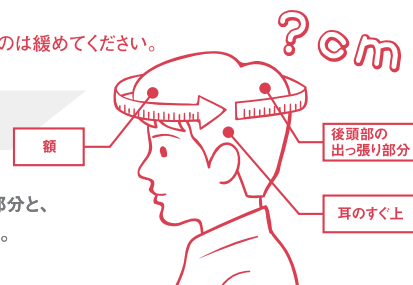
1

自分に合うかも、と思われるサイズを選びます。

- あごひものバックル（留め具）を外す。
- 後頭部にアジャスターが付いているものは緩めてください。

サイズの測り方

メジャーを用意し、頭に回します。
このとき、額と後頭部の出っ張っている部分と、
耳のすぐ上を通るラインを測ってください。



2

実際にかぶってみます。

- あごひもが邪魔にならないよう、あごひもを両手で広げながらヘルメットをかぶり、あごひものバックル（留め具）を締めます。
- ヘルメットの先端がまゆ毛のすぐ上にくるようにヘルメットの角度と位置を合わせます。
- アジャスター付きの場合は、ヘルメットの前面を押さえながら、アジャスターのダイヤルを締めていきます。



3 サイズ判定

【きつい場合】

- ◎明らかに小さい。
- ◎痛くはないがどこかに当たっている感じがする。
- ◎こめかみが締めつけられる感じがする。
- ◎ヘルメットが途中で止まっている感じがする。
(最後までかぶれていない、ヘルメットと頭頂部にスキ間がある)
- ◎ちょっときつめかも……。

上記いずれかに当てはまる場合は、
もう一つ大きめのサイズをお選びください。



【ゆるい場合】

- ◎明らかに大きい。
- ◎アジャスターだけで支えられている感じがする。
- ◎ヘルメットをかぶってから左右に大きく振れる。(ぐらつく)
- ◎頭頂部しか当たっている感じがしない。

上記いずれかに当てはまる場合は、もう一つ小さめの
サイズをお選びください。



【適正と思われる場合】

- ◎緩すぎず、痛いところや窮屈さを感じる部分がない。
- ◎帽子をかぶる感覚で自然とかぶれている。
- ◎ヘルメットをしっかりと頭頂部までかぶれている。
- ◎アジャスターを締めたらさらにフィットがよかった。



? 判らなかつたら

迷わずお店のスタッフに
相談しましょう。



ヘルメットの 定期的なお手入れ方法

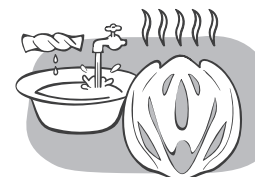
定期的なメンテナンスで快適な
サイクルライフを楽しみましょう。



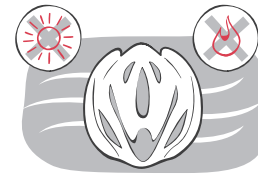
【使用後】



雨などで濡れたらしっかり
ふき取りましょう。



汗で湿ったまま放置せず、
洗浄してから自然乾燥した後に、
保管しましょう。

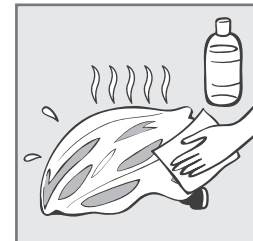


車中や暖房機など高温になる
場所や直射日光に当たる場所での
保管・放置はせず、風通しの
良い日陰で保管しましょう。

1. 汚れを落とす

※ぬるま湯 (35℃以下)

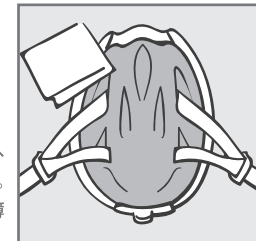
【シェル表面】



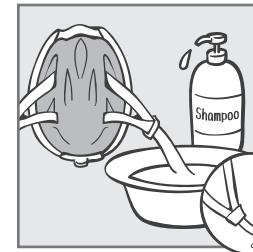
水もしくぬるま湯を含ませた布で
汚れをふき取ります。汚れがひど
い場合は中性洗剤を薄めた水か
ぬるま湯※でふき取ります。

インナーパッドをすべて取り外し、ヘルメット内側の汚れをふき取ります。汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めた水かぬるま湯※でふき取ります。

【ヘルメットの内側】



【あごひも】

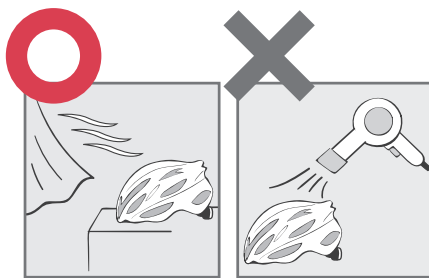


洗面器などに水もしくはぬるま湯※をため、あごひもをそこに浸します。あごひもに水分を含んだら、シャンプーもしくはボディソープを数滴手に取り、優しくもみ洗いを行い汚れを落とします。泡が無くなるまでしっかりすすぎ洗いをしたら、タオルなどであごひも全体を包み込みながら水分を取り除き、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてください。

※MOFF® 製あごひもを洗う場合のご注意
MOFF® 製あごひもを洗う場合は、アルカリ系洗剤はMOFF® の効果が減少するので使用しないでください。

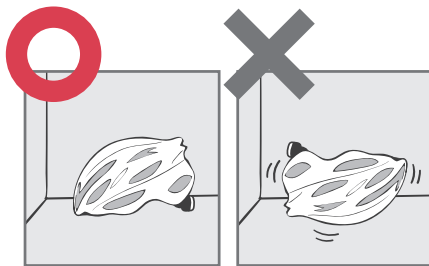
2. 乾燥

ヘルメット本体もインナーパッドも、直射日光が当たらない、風通しのよい日陰などでしっかりと乾燥させましょう。もちろん風などで落下しないよう、安定した場所での乾燥をしましょう。なおドライヤーや浴室乾燥、暖房機など50℃以上になるような器具や場所での乾燥は材質が傷むおそれがあるので絶対におやめください。しっかりと乾燥されず保管した場合、材質が劣化する場合があります。



3. 保管

乾燥が終わったら、インナーパッド、アジャスターなどを元の位置へ戻します。なお保管場所は、直射日光が当たらない50℃以上にならない場所にしましょう。落下の可能性がある場所や、逆さ置きにせず、水平で落下の心配がない場所に正しく置きましょう。



消耗品はパーツ交換でリフレッシュ

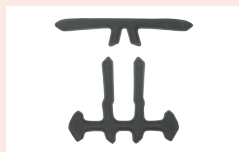
下記のパーツは使用頻度やお手入れ状況などにより、傷みや消耗がみられた場合に交換することが可能です。快適に使用するためにも、無理に使い続けず早めに交換するようにしましょう。



アジャスター

こんな場合にはすぐ交換しましょう

- ◎動きが悪くなった
- ◎すぐに緩む
- ◎部品やベルトに亀裂が入ったり破断が見られたりする



インナーパッド

こんな場合にはすぐ交換しましょう

- ◎内装の生地が剥がれた
- ◎いくら洗っても汚れが落ちない
- ◎購入当初に比べフィット感が悪くなった
(直接ヘルメットに当たる感じがする)



ヘルメットの 使用期間について

Kabutoでは、ヘルメットの耐久性を考慮し、ヘルメットのご使用開始から「3年」をめやすに買い換えをおすすめしています。

購入後**3年**をめやすに 買い替えをおすすめする理由

サイクリングは屋外で行うスポーツであり、そこで使用されるヘルメットは紫外線や雨・土などの自然環境はもちろん、ご自身の汗や皮脂などにさらされています。それらが要因となりヘルメットは徐々に材質劣化が進行するため、長くご使用になられたヘルメットでは万一のアクシデントの際に十分な保護性能を発揮できないおそれがあります。古くなったヘルメットはずっと使い続けず、3年をめやすに交換するようにしましょう。



Let's enjoy
cycling!!!

